

1. 実験実施の背景

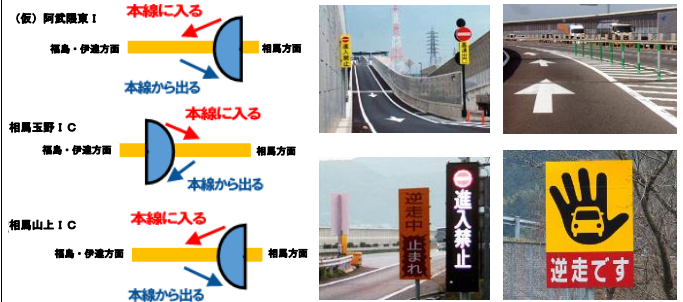
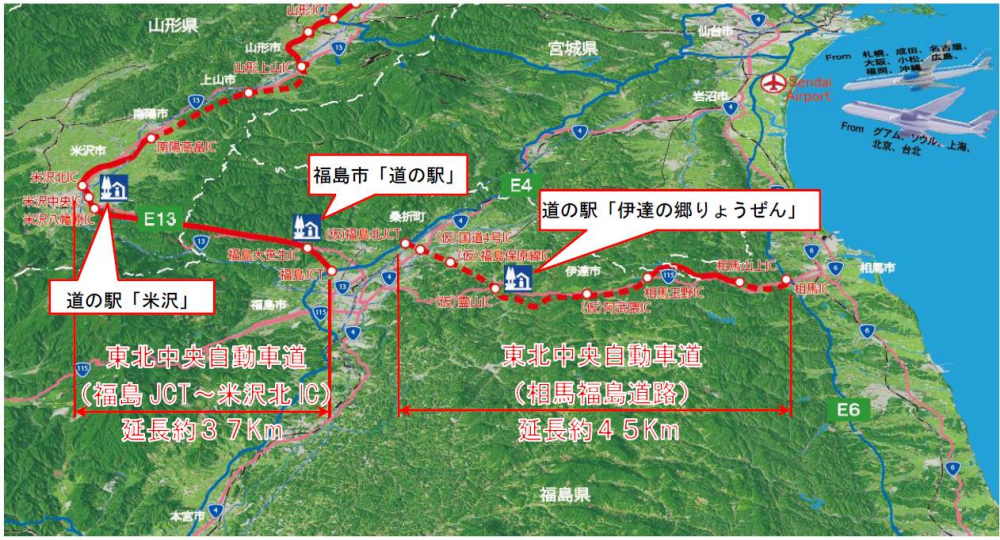
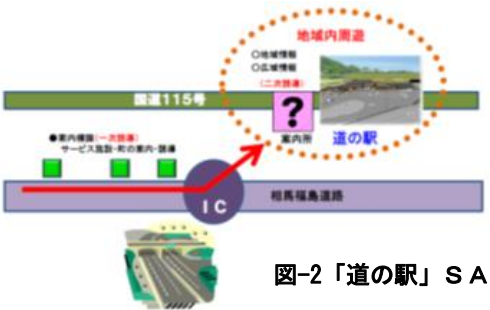
- ・東北中央道「相馬福島道路」には道路休憩施設の整備予定がなく、GSやトイレ・休憩場所については、ICを降りて一般道の代替施設を探すことになり供用開始後の利用者の安全性確保と利便性向上が課題
- ・平成30年以降、東北中央道沿線に開業・計画の「道の駅」の道路休憩施設としての代替施設化が可能
- ・東日本大震災以降、さらなる高齢化が進展。東北中央道「相馬福島道路」のハーフィンターは、来訪者だけでなく地域のドライバーにもわかりにくく、逆走が多発化する可能性

2. 調査項目

道路休憩施設としての「道の駅」の役割と効果の検証、「道の駅」を中核とした沿線地域活性化の検証を行うため

- ①「道の駅」のSA化（無料高速道路におけるSA代替施設）
- ②東北中央道「相馬福島道路」への沿道施設案内標識の設置について、FSを実施する

3. 検討内容



4. 検討結果

東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会（第4回）の開催

<議事内容>

- (1)東北中央自動車道(福島大笹生IC～米沢北IC間)開通による地域経済(観光・産業など)への効果について
- (2)道の駅「米沢」の利用促進策について
- (3)東北中央自動車道利活用のための具体的な情報発信方法のアイデアについて
- (4)プロジェクトマップの更新について
- (5)その他情報提供について
 - ・東北中央自動車道開通に伴う周知及び誘客行動について
 - ・東北中央自動車道を活用した地域活性化策検討意見交換会の実施
 - ・東北中央自動車道の経済波及効果について



図-4 協議会の実施状況

社会実験有識者懇談会委員との意見交換会開催

<議事内容>

- (1)対象となる地域および道の駅の現地調査
- (2)実証実験にかかる意見交換の実施



図-5 社会実験有識者との意見交換会の実施

5. FSによって反映した検証項目

- ・社会実験の広報・周知の実施
- ・「道の駅」連携による広域周遊促進実験:広域周遊バスの試行、広域周遊のゲートウェイ機能検証
- ・「道の駅」を拠点とした地域内周遊実験:自転車活用の試行、シャトル、周遊バスの運行